

東洋大学附属牛久中学校

平成三十一年度

第一回一般入学試験 問題

検査問題 I (国語)

注意

- 1 試験時間は五十分です。
- 2 問題は大問二問でできており、八ページあります。
- 3 この問題冊子に抜け落ちているページや印刷不鮮明の箇所、
解答用紙の汚れよごなどがあれば、試験監督かんとうくに申し出てください。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入してください。
- 5 試験開始の合図があつてから始めてください。

【2】次の問題に答えなさい。

問1 次の各文の傍線部は、どこにかかる言葉ですか。例にならつて答えなさい。

例) きれいな 赤い 花が 咲いている。 答..花が

① 空に 美しい 虹が 出た。

② 青く 澄んだ 空が とても きれいだ。

問2 次の各文について、文の内容を変えないで、() の指示に従ってそれぞれ文を書きかえなさい。

例) 父は 私たちを しかった。(「私たち」を主語にして)

答え..私たちは 父に しかられた。

① 母は 花の種を 姉に もらった。

(「姉」を主語にして)

② 社長が 写真を 見る。

(「社長」に敬意を示して)

問3 次の文章には、……部と——部のつながりが合っていない文

があります。文章をよく読んで、後の問いに答えなさい。

※文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

〈ぼくの夢〉

① ぼくの夢は、新聞記者になることです。② ぼくの日課は毎日三社の新聞を読みます。新聞記者になるためにはいろいろな経験も必要だと思えます。③ ぼくは、クラスで学級新聞を作っています。

④ ぼくは新聞委員として取材をし、記事を書いています。⑤ ぼくの父も ぼくの夢を応援してくれています。

(1) ……部と——部とのつながりが合っていない文の番号を①～⑤までの中から一つ選び、番号で答えなさい。

(2) (1)で選んだ文について、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、正しく書き直しなさい。

【2】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権上の理由により本文は省略しています

(池上嘉彦「ふしぎなことは ことばのふしぎ」筑摩書房)

【注】

※1 文 … 昔のお金の単位。

問1 傍線部 a ～ e について、カタカナは漢字に直し、漢字は読みを書きなさい。

問2 二重傍線部 A 「修業」と熟語の組み立てが同じであるものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 海底
- イ 記名
- ウ 寒冷
- エ 市立

問3 二重傍線部 B 「普通」の対義語を本文中から漢字二字で書き抜きなさい。

普通 ↑ ↓

問4 傍線部 1 「ならわし」の本文中の意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 規則
- イ 法則
- ウ 勝負
- エ 習慣

問5 傍線部 2 「機知」の本文中の意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ある物事についての認識や理解
- イ その時その場にに応じて働く才知
- ウ 何かをするのに都合のよい時機
- エ 知識を日常生活に役立てる技術

問6 傍線部 3 「そのようなお坊さんと旅の僧」とありますが、ここである「お坊さん」、「旅の僧」の説明として当てはまるものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。同じ記号は重ねて使えません。

次の文の空欄を本文中の言葉(どちらも五字以内)で埋めなさい。

〈説明文〉

旅の僧が「①」のつもりでした身振りを、こんにやく屋の主人は「②」だとこらえた。

- ア 弟子を集めて修業をさせている人
イ 自分の武芸の腕に自信がある人
ウ 学識があり周囲の信頼が厚い人
エ 気が弱く、人のよさそうな人
オ 弱い者いじめをして喜ぶ悪い人
カ 田舎から外に出たことがない人
- 問7 傍線部4 「おしよさんの代わりになって相手をしてみましょう」とこんにやく屋の主人が言ったのはなぜですか。その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おしよさんが困りはてていたから

イ 問答をやってみたいと思っていたから

ウ 問答の経験があり、自信があつたから

エ 偉そうな旅の僧の態度が気に入らなかつたから

問8 空欄 X に当てはまる言葉(三文字)を考えて入れなさい。

問9 傍線部5 「こういうこと」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 「こういうこと」の指す内容を三十字以内で解答欄の「こと」に続く形で書き抜きなさい。

(2) 「こんにやく問答」の(右手の三本の指を付き出す)を説明した

問10 空欄 Y・Z に入る語として最も適切なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

Y ア つまり イ でも ウ ところで エ また

Z ア あいにく イ 必ず ウ かなり エ たぶん

問11 傍線部6 「どちらの『ノーガク』の先生も相手の人が自分と同じ『ノーガク』の先生だと思って話していた」とありますが、このような「同じ発音で意味が違う」語を何と言いますか。漢字五字で答えなさい。

問12 傍線部7 「ひとりで散歩していらしたらいかが」という女の子の発言はどのような気持ちの表れですか。女の子の気持ちになって、自分の言葉で答えなさい。

問13 傍線部8 「補わなくてはならない」とはどういうことですか。

分かりやすく言いかえた部分を本文中から二十字以内で書き抜きなさい。

問14 本文の内容をふまえて後の(1)・(2)に答えなさい。

(1) この文章で述べられている「ことば」の内容として不適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言葉であっても意味の取り違えは起こるということ

イ 言葉は使う人の心を映し出す鏡の役割をすること

ウ 我々は言葉に対して、文字以上の意味を読み込むこと

エ 言葉は意味が決まっているので、勝手な解釈はできないこと

(2) これまでの生活の中で、日本語の使い方がむずかしいと思った経験を述べなさい。また、正しい日本を習得するために今後どのような努力をしていきたいと考えていますか。理由とともに百六十字以上二百字以内で書きなさい。また、書くときには次の《きまり》に従いなさい。

《きまり》

・氏名と題名は書きません。

・各段落の最初はマス目下げて書きます。

・「、」や「。」もそれぞれ一文字に数えます。ただし、行の一番上のマス目に「、」や「。」がきてしまうときは、前の行の最後のマス目に文字と一緒に記入してかまいません。

・文章の途中とちゅうで段落をかえたときの残りのマス目は、文字数として数えます。